

2019年度事業報告

2019年1月1日～12月31日

I 事業実施報告

大阪自然史センター（以下、センター）は、大阪市立自然史博物館を利用して学習する人々による「友の会」（1955年5月発足）を母体として発展し、2019年には18周年を迎えました。広く自然史科学の発展と普及にとり組み、4月から地方独立行政法人大阪市博物館機構としてスタートした博物館の事業進展に寄与することを通して、自然に対する理解を深めることを目的とした事業を実施してきました。

2019年の主な事業は以下のとおりです。

社員はじめ各事業関係者の支援と協力を得て、2017年に策定した中期計画に沿った経営視点を積極的に取り入れ、新しくスタートした博物館とのパートナーシップを念頭に、継続事業や新規事業をセンターならではの視点で実施しました。

友の会事業では1月の総会に始まり、年間を通じて自然に親しむ多彩な事業を数多く実施しました。5月には友の会・センターの活動報告会を開催し、伝統ある活動を改めて顧みる機会となりました。

ミュージアムサービス事業は博物館の掲げる趣旨に沿って特別展示や各種イベントの開催に合わせ、自然史に関する書籍・自然観察道具やグッズなどを準備し、多くの来館者に満足していただけるよう、サービスの提供に努めました。

普及教育事業では、長年の経験を生かしたワークショップ事業を博物館内のみならず、五月山動物園ほか各地で展開しました。また、天王寺動物園やキッズプラザなどからの事業を継続受注し、いずれも高い評価を得ることができました。

恒例となっている大阪自然史フェスティバルは、大阪を中心に地域ごとの自然系活動団体が一堂に会するイベントとして、行政・公共団体のみならず、企業・民間団体とも協力し、自然史博物館と共催して実施しました。NPO活動の中核である寄付文化の浸透を図り、多くの賛同を得て幅広い年代層が来場する充実した事業となりました。

地域NPO法人と連携した、高槻市自然博物館（あくあびあ芥川）の指定管理は、地域に愛される施設運営に引き続き実績を上げています。

今後の展望

センターはより広く社会に賛同者を得るべく、基盤となる理事会・事務局体制の一層の充実と、職員資質の向上を図り、精鋭でフレキシブルに対応する組織運営をめざします。また、2019年の実績を生かし、日常的なコミュニケーションをより深化させ、関係者の思いが形となる事業をめざします。

自然が身近なことに気づいてもらえる機会をつくってユーザーコミュニティを拡充し、自然に親しもうとする市民や団体とともに「自然史科学の発展と普及」に資する事業展開につなげていきたいと考えています。意欲・経験・技能も持つ社員の皆様には、友の会事業を始め各種事業に参画していただくなど、幅広い活動の支えを期待しています。

II 各事業について

1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の12回発行と月例ハイキングや友の会合宿など自然観察事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府内など

[日 時]

2019年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1643名(うち賛助会員 89名)

2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため、大阪市から占用許可を受け、博物館の掲げる趣旨に沿って、自然史に関する書籍・自然観察道具やグッズ等を特別展示や各種イベント開催に合わせて販売。多くの博物館来館者に満足していただけるようサービスの提供に努めた。

学会・イベント等の出張ショップ、全国の書店やミュージアムショップへの委託・卸販売など、店舗の運営と平行させて事業展開を行った。

「博物ふえすていばる! (東京)」、「ICOM 連携イベント 花洛庵(京都)」、「いきもにあ(神戸)」、「日本生態学会(神戸)」、「日本鳥学会(東京)」、「苔展(兵庫、京都)」、「神保町ヴンダーカンマー(東京)」、など学会や生き物をテーマにしたイベントに33回出店販売するなど、外部への販路拡大に努めた。ネット販売にも力を入れ、前年同様に多くの方々にご利用いただいた。

2019年に企画した新商品は、「復活! 虫へんTシャツ2」、「虫へんトートバッグ」、「虫へんサコッシュ」ほか。

[場 所]

大阪市立自然史博物館ほか各種学会・イベントなど

[日 時]

2019年通年

[対象者]

一般来館者・各種学会・イベント参加者等

3. ボランティア事業

実施なし

4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。

5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための貝塚市自然環境保全基本調査・能勢町博物標本整備事業等を受託・実施した。

[日 時]

2019年通年

[場 所]

大阪府内など

6. 普及教育事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため大阪自然史フェスティバル等の各種イベント・事業のチラシ・資料・看板等作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として大阪市立自然史博物館子ども向けワークショップ業務、大阪市立天王寺動物園から動物剥製標本修復事業を受託実施した。キッズプラザ大阪生態展示「アリコロカナギス」維持管理業務、池田市立五月山動物園ワークショップ業務、こどもワークショップ業務、天王寺動物園教育プログラム作成業務等を受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪市立天王寺動物園、キッズプラザ大阪、池田市立五月山動物園、大阪府内など

[実施日時]

2019 年通年

7. 自然保護・自然環境保全に関する事業

関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジウムの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府内など

[日 時]

2019 年通年

8 施設運営管理事業

高槻市立自然博物館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業として、高槻市立自然博物館(前高槻市芥川緑地資料館)の施設管理運営事業を、地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあびあ芥川共同活動体」を組織し、センターが主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様に基づき施設の維持管理及び博物館運営に取り組んだ。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1 高槻市立自然博物館

[事業期間] 2017 年度から 2021 年度末まで

Ⅲ 社員総会の開催状況

[名 称] 平成 30(2018)年度(第 18 期)定期総会
[場 所] 大阪市立自然史博物館会議室
[日 時] 平成 31 (2019) 年 2 月 2 日 (土) 午後 3 時 00 分～4 時 00 分
[出席者数] 45 名 (社員総数 73 名 本人出席 29 名、委任状出席 16 名)
[内 容]

議 事

第 1 号議案. 平成 30 (2018) 年度事業報告 (事業報告書参照)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって平成 30 (2018) 年度事業報告を承認した。

第 2 号議案. 平成 30 (2018) 年度収支決算報告 (財産目録、貸借対照表、活動計算書参照)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって平成 30 (2018) 年度決算を承認した。

第 3 号議案. 2019・2020 年度事業計画 (事業計画書参照)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、出席社員の満場の一致をもって 2019・2020 年度事業計画を承認した。

第 4 号議案. 2019・2020 年度活動予算 (活動予算書参照)

事務局から活動予算について提案説明し、出席社員の満場の一致をもって 2019・2020 年度予算を承認した。

第 5 号議案. 平成 24 年～平成 26 年決算表記の修正について

平成 30 年 12 月中旬に実施された認定 NPO 継続の調査において大阪市から年度更生を必要とする指導を受けたため。

事務局から提案説明し、出席社員の満場の一致をもって平成 24 年～平成 26 年決算表記の修正について承認した。

第 6 号議案. 役員の改選について

議長は、役員全員が任期満了につきその選任方法を議場に諮ったところ出席社員の満場の一致をもって次の者が役員に選任され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

理事 (再任) 10 名

梅原 徹・道盛正樹・奥平敬元・白木江都子・波戸岡 (前迫) ゆり・井上 淳
丸山 健一郎・楠井 晴雄・天満 和久・上田 和歌子

理事 (新任) 4 名

中田兼介・乾公正・渡邊岳志・米澤里美

監事 (再任) 1 名

左木山 祝一

監事 (新任) 1 名

三宅卓

任期満了

篠沢健太理事・加納康嗣監事

以上の議案について事務局より一部誤植を修正し、また、所轄庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を説明し、出席社員の満場の一致をもって承認した。

IV 理事会の開催状況

第1回理事会

[名 称] 平成 31(2019)年度第 1 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 31(2019)年 2 月 2 日(土)午後 1 時 00 分～2 時 50 分

[出席者数] 11 名 (総数 11 名 本人出席 7 名、議決権行使書 4 名)

[内 容]

議事

議題 1. 総会提出議案について(総会資料参照)

議題 2. 年次雇用職員の退職一時金について
事務局で検討し理事長の決裁を受ける

第2回理事会

[名 称] 平成 31(2019) 年度第 2 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 31(2019)年 2 月 8 日(金)午後 4 時 10 分～4 時 30 分

[出席者数] 14 名 (総数 14 名 本人出席 10 名、議決権行使書 4 名)

[内 容]

議 事

議題 1 理事長の選任について

議長は定款第 13 条の規定に基づき、理事長 1 名を選任したい旨を述べ、慎重協議した結果、出席理事全員の一致をもって梅原 徹氏が選任された。なお、被選任者は、席上、即時、その就任を承諾した。

第3回理事会

[名 称] 平成 31(2019)年度第 3 回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日 時] 平成 31(2019)年 3 月 30 日(土)午後 3 時 00 分～5 時 00 分

[出席者数] 14 名 (総数 14 名 本人出席 11 名、議決権行使書 3 名)

[内 容]

議 事

初めに川端副館長より 4/1～自然史博物館の独立法人化についての概略説明があった。

議題 1 2019 年度(平成 31 年度)事業の進捗について

*ミュージアムショップ運営 4～9 月までは随意契約で現行通り。

10 月以降については提案型のプロポーザルの予定。

*博物館ワークショップ 4～10 月までは随意契約で現行通り。

以降については夏頃、提案型のプロポーザルの予定。

*高槻市立自然博物館指定管理・キッズプラザ大阪展示維持管理業務・

五月山動物園ワークショップは今期も契約継続。

*地球環境基金助成金は継続助成。

議題 2 事務局・執行体制及び職員待遇について

3月末日をもって米澤さん、中村さんの2名退職。

4/1より池田さん年次雇用にて新規採用。

4/1より池内さん、山中さんを2等級から3等級へ昇格。

4/1より平均1号俸の昇給。

有期労働契約から無期労働契約への転換についてはセンター会議で検討する。

報告

認定に係る事務について

認定NPO継続申請について3/29に継続決定された。

期間 平成31年3月31日から平成36(令和6)年3月30日 5年間

上記の継続決定に伴い、大阪市・大阪府への税控除申請を行う。

その他

なにわエコ会議 生物多様性部会長の任についてはお断りする方向で。

4/27 自然史博物館・自然史センター報告会予定。

第4回理事会

[名称] 令和1(2019)年度第4回理事会

[場所] 大阪市立自然史博物館 会議室

[日時] 令和1(2019)年8月18日(日)午後5時00分～6時00分

[出席者数] 14名 (総数14名 本人出席 11名、議決権行使書 3名)

[内容]

議 事

議題1 2019(令和1)年事業の進捗について

*ミュージアムショップ運営 4～9月までは随意契約で現行通り(少しずれるかも?)。

以降については提案型のプロポーザルの予定。(公募未)

*博物館ワークショップ 4～10月までは随意契約で現行通り(少しずれるかも?)。

以降については秋頃、提案型のプロポーザルの予定。(公募未)

*高槻市立自然博物館指定管理・キッズプラザ大阪展示維持管理業務・五月山動物園ワークショップ・天王寺動物園剥製修復等の事業は順調。

*その他の事業についても概ね順調。

議題2 上半期の収支の状況について(資料参照)

*6月末では赤字になっているが、昆虫展に向けての先行投資や各事業の先行支出等があり、昆虫展での販売見込みも順調で特に問題ないと考える。

報告 2019大阪自然史フェスティバルの準備状況について

*約130団体余りの参加希望がある。

収入についてはまだまだ不足気味なので寄附や古本販売に力を入れる方向で。

*その他

・能勢町博物標本整備事業についての説明

・認定NPO 寄付金税額控除に係る大阪府・大阪市の有効期間が令和6年3月30日まで延長。

・次回理事会 12月21日(土) 午後3時から

第5回理事会

[名 称] 令和1(2019)年度第5回理事会

[場 所] 大阪市立自然史博物館 応接室

[日 時] 令和1(2019)年12月22日(土)午後4時00分～6時10分

[出席者数] 12名 (総数14名 本人出席 10名、議決権行使書 2名)

[内 容]
議 事

議題1 2019年度の事務・事業について

- ・収支の状況(決算見込み)について
友の会の会員数が年々減少気味であるが、昆虫展のショップも好調であり、事業全般においては概ね順調であった。若干の黒字で終われる見込み。
- ・事業の進捗について
博物館ワークショップ 11月から2年5ヶ月間の契約。
ミュージアムショップ運営 12月から2年4ヶ月間の契約。
- ・寄付者(高額)への対応について
10万円以上のご寄附をいただいた方に感謝状を贈る
- ・その他
あくあぴあ芥川へのクレーマーも11月中旬以降動きはない。
ショップのレジを新しくする。

議題2 事務局・執行体制及び職員待遇について

- ・期末手当 規定通り支給する。
- ・職員の育成・残業時間等に関して
研修会等への参加や指導を的確にし、古本値付け等の業務方法を見直す。
全職員が残業時間を減らす方向で業務にあたる。

議題3 総会の開催等について

- ・2020年(令和2年)2月1日(土) 午後1時から理事会
午後3時から総会開催予定